

水道協会雑誌投稿規程

(投稿資格)

1. 投稿者は、①本協会会員（正会員、特別会員、賛助会員）及び会員に所属する者、②官庁及び大学等の研究機関、③その他会誌編集委員会（以下「委員会」という）が認めたものとする。

(原稿の内容)

2. 原稿は、水道（技術、経営、法制度等）に関する未発表のものとする。

また、原稿の投稿区分は、論文(学術)、論文(実務)、実務・技術レポート、総説、資料、海外文献抄録及び随筆とし、それぞれ下記区分ごとに示す要件を満たしていることとする。

- (1)論文(学術)：新規性及び有用性を有する実証的な研究成果及び知見で、水道に係る「学術」の進展に寄与する内容のものであり、かつ結論を明確にし、その論拠を示しているもの。
- (2)論文(実務)：実務上得られた有用な成果及び知見で、水道事業の「実務的課題の解決」に寄与する内容のものであり、かつ結論を明確にし、その論拠を示しているもの。
- (3)籍・技術レポート：事例、調査結果、技術成果等を簡潔に取りまとめたもので、有用性があるもの。
- (4)総説：ある特定のテーマに関して、既存の研究・最近の進展・将来の展望など、幅広い観点から総括的に論説したもの。
- (5)資料：測定データ、統計データなどが主体であり、有用な情報であるもの。並びに委員会報告。
- (6)その他：海外文献抄録、随筆、その他編集委員会が必要と認めたもの。

なお、原稿は、内容が独立して完結しているものとし、題名に「(1)」等の通し番号は含めないこととする。

(原稿の採否)

3. 原稿の採否は査読者の査読を経て、委員会において決定するが、具体的な否の判断基準は下記の通りとする。
 - (1) 上記1～2を満たしていないとき

(2) 特定の団体、製品、工法、新技術等の宣伝が含まれるとき

(3) 特定の団体、製品、工法、新技術等を誹謗中傷する内容が含まれるとき

(原稿の訂正)

4. 委員会は、査読者の意見に基づき、著者に原稿を返送のうえ、書き直しまたは訂正を求めることがある。その場合、返送の日から3ヵ月を経ても再提出されないときは、著者が原稿を取り下げたものとみなす。

(執筆要領)

5. 原稿は、下記の要領に従って執筆するものとする。
 - (1) 原稿は、Word 等により電子ファイルを作成し、それを保存した電子媒体と打ち出し原稿を添え、入力ソフト名及びバージョンを明記のうえ提出すること。

なお、メールにて原稿を送稿する場合には、Word等の電子ファイルと打ち出し原稿のPDF ファイルを併せて送信すること。
 - (2) 原稿の作成に際しては、任意のA4判用紙を用い、横22字×縦42行を左右2段組にして図表をレイアウトし、原則として10頁を超えない程度とすること。

また、原稿には、word等の機能を利用し、頁ごとに行番号を付すこと。
 - (3) 原稿には、著者の勤務先・役職名・所在地・電話番号・学位並びに自宅の住所・電話番号を付記すること。

また、題名には英文を、氏名にはローマ字を付記すること。
 - (4) 原稿には、論文(学術)、論文(実務)、実務・技術レポート、総説、資料、海外文献抄録、随筆の区分を明記すること。
 - (5) 原稿には、分類項目及びキーワードを別表よりそれぞれ5個以内選び、コード番号と併せ記入すること。ただし、キーワードについては独自のものでも可とする。その場合にはキーワードの横に「※」を付すこと。
 - (6) 原稿には、和文要旨(300字以内)を作成すること。

と。また、論文（学術）、論文（実務）には、英文要旨（250語以内）を添付すること。

- (7) 文章は「である」調で書くこと。
- (8) 文字は、常用漢字（専門用語は除く）、新仮名使いを用い、1字1全画使用すること。ただし、次の用語については、日本水道協会にて慣用されている漢字を使用する。

「汙過」（外字を使用するため、原稿上は「ろ過」とする。）「沈澱」、「攪拌」、「曝気」、「灌漑」

- (9) 本文中で使用する単位は国際単位系（SI）に従って表記すること。また、下記の単位については、水道協会雑誌内で統一を図っているので、こちらを使用すること。

mg/L、m³/日、pH、MPa、kPa

- (10) 句読点（。）（、）（・）の区分を明確にし、1全画使用すること。
- (11) 行を改めるときは、行の始まりを1全画あけ、2画目から書き始めること。
- (12) 英文字・ギリシャ文字・数字・記号は、大文字・小文字、立体・斜体、上付き・下付きの区別を打ち出し原稿にただし書きすること。
- (13) 一般的でない記号あるいは用語（外来語を含む）を用いるときは、注釈を付けること。
- (14) 引用文献及び参考文献は、著者名・題名・書名・巻数・号数・頁（始終）・発行所名・発行年月の順に明記すること。
- (15) 図は、記載する描線、記号、文字等が鮮明なものであること。
- (16) 図・表・写真には、必ず番号（文章頭から連続した番号）と表題を付すこと。
- (17) 図・表・写真は、挿入位置を明確にし、必ず原稿にデータを挿入すること。
- (18) 投稿原稿における全著者の具体的な貢献内容を、本文中の最後（参考文献の前）に記載する。

著者の役割は①～⑤の5項目とし、全ての著者は、いずれかの役割を少なくとも一つは果たしていなければならない。また、役割が複数ある場合は全て記載する。

なお、記載方法は、著者の順に該当する役割の項目名を記載する。

例：水道 太郎：着想・企画、調査・収集、
解析・検証、執筆・推敲
水道 花子：執筆・推敲、指導・監督

- ①【着想・企画】：研究の目標や目的の設定など、研究の着想から企画に至るまでの役割

- ②【調査・収集】：研究に関わる調査の実質的な実施、またはデータの収集等の役割
- ③【解析・検証】：研究から得られたデータの解析や検証等における役割
- ④【執筆・推敲】：原稿の執筆・推敲、または図表等の可視化の役割
- ⑤【指導・監督】：研究における指導・監督の役割（研究プロジェクト等の資金獲得も含む）

（原稿提出時の注意）

- 6. 原稿を提出する際は、次の事項に注意する。
 - (1) 万一の事故や原稿内容に関する問い合わせがあったときのために、必ず控えを手元に保管する。なお、掲載した原稿（図・表・写真を含む）は返却しないものとする。
 - (2) 原則として、原稿提出後の著者の変更・追加・削除は認めないものとする。また、著者都合による本文の訂正も認めないものとする。

（著者校正）

- 7. 著者校正は、一原稿につき一回とする。著者は、校正刷りを受領後、3日以内に校正を行い、直ちに返送すること。

（著作権）

- 8. 本誌に掲載された原稿の著作権は著者に帰属し、その編集著作権は本協会に帰属するものとする。
なお、本誌に掲載された原稿は、本協会のホームページ及び電子ジャーナルへの掲載に使用する。
また、著者は、本協会が上記の目的で掲載された原稿を使用することに対し、原稿を提出した日をもって、同意したものとする。

（原稿の受付日）

- 9. 原稿が本協会に到着した日をもって原稿の受付日とする。

令和8年10月1日 改正

（連絡先）

〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-9
日本水道協会調査部資料課編集係
電話 (03) 3264-2387
メール henshu@jwwa.or.jp